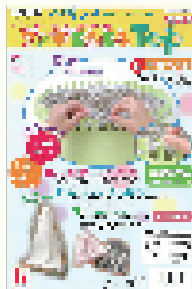


マナちゃん
これはタワシです



アンデミルミルTOP
H205-586



アンデミルミルTOPで作る

くだものタワシ AMF-12



- No.434-15g ● No.404-15g ● No.433-15g
- No.493-少々 ● No.493-少々 ● No.493-少々

●●柿とリンゴは3目と8目を各1枚使用します。 ●ミカンは2目と8目を各1枚使用します。



おいしそうだにゃん



●1玉で3個分が作れます。

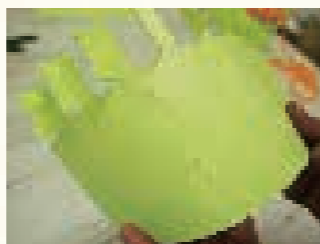


使用糸 ハマナカボニー
50g玉巻き約60m

●アンデミルミルを組み立てます。



アンデミルミルの針山のツメを表面に直角に折り曲げます。



突起部分を別パーツに表側から差し込んで止めます。



円形になるように止めます。

柿の作り方 (15g約40段編みます)



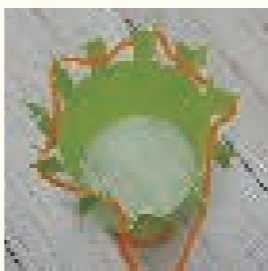
糸をかけます。パーツのすき間に糸端をはさみます。



スタート位置



糸をスタートの針山の表側、次の針山の裏側にかけてます。



写真のように交互に糸をかけます。



スタート位置に来たら、最初の糸を指でつまみ、2周目の糸の上をかぶせるようにして、針山の裏側へかけます。



1周目の糸が針山の裏側にかかっている針山とはばし、表側にかかっている時に編みます。



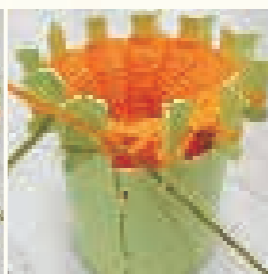
3周目以降は全ての針山の前に前段の糸があります。



前段の糸をつまみ、新しい糸の上をかぶせるようにして、針山の裏側へかけるをくりかえして編みます。



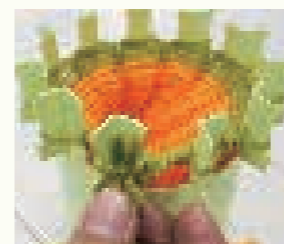
15g(約40段)編んだら糸を変えます。糸は2回結びをします。(柿のヘタ)



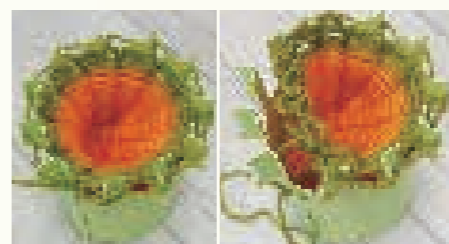
5段編みます。



糸をミルミル2周分残し、カットします。



カットした糸を針山にかかっている糸の下から上に通します。



糸端を全ての針山の糸に通したら、編地を針山からはずします。



編地を上下に引っ張って編み目を整えます。



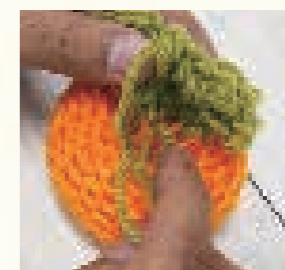
編地が出来ました。糸端は始末しないで大丈夫です。



糸端ごと編地をくるくる巻いていきます。



ミドリの部分はヘタになります。



ヘタ側の糸端を本体の中へ隠します。



形を整え、柿のタワシの完成です。

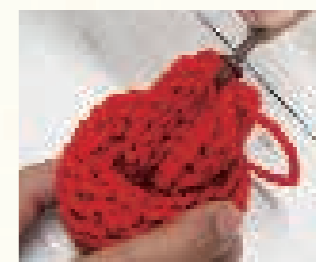
リンゴの作り方 (15g約40段編みます)



片方の端の糸を引っ張り、編地をすぼめます。



茶色のコード10cmを半分に分けて、編みに通します。

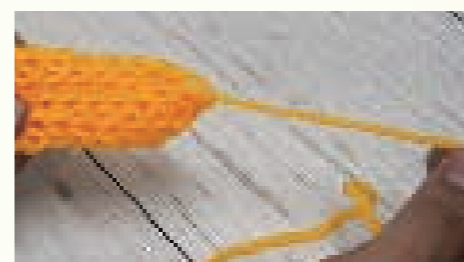


コードの端を輪に通して引っ張ります。



編地を巻いて、形を整えるとリンゴのタワシの完成です。

ミカンの作り方 (15g約45段編みます)



片方の端の糸を引っ張り、編地をすぼめます。



緑の糸端10cmを半分に分けて、編みに通します。



糸端を輪に通して引っ張ります。1cm程残してカットします。



編地を巻いて、形を整えるとミカンのタワシの完成です。